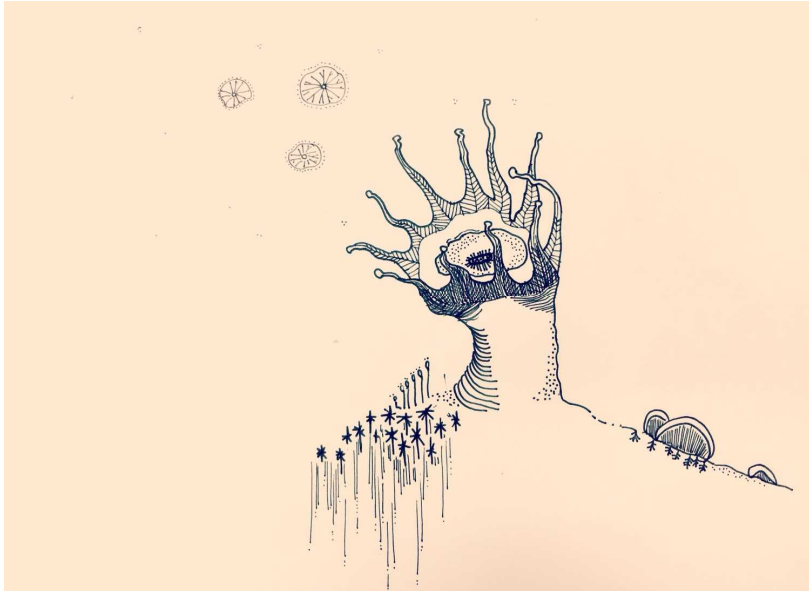


ならやま支部便り

第二百二十八号(10月号) 平成30年10月1(土)
神無月 かみなづき October

八日 体育の日 寒露
二十一日 十三夜
二十三日 霜降

今月の絵「ほしふるヨル」 池田姮苺



10月のスケジュール

一日(月) 事務局会議 十八時四十五分 富雄

二日(火) まほヅクツキング 十三時 道場
四日(木) 競吟部 九時半 道場
五日(金) ● 苺友会研修 十八時四十五分 西部◎
● 一絵会洋画展 (八日) 奈良県文化◎
1F 展示室A

六日(土) ● 審査員講習会 十三時 川原城◎
奈良県総連主催

七日(日) ● 本部指導局 十時半 仮本部
● 愛連二部 九時半 あましんアルカイック

九日(火) ◎ 構成吟リハ 十九時 かまぼこ館
十二日(金) 研修部休み

十三日(土) KOKO三重クラス 十二時
グリーンサロン

十四日(日) 昇段試験 十時 大里会館
十九日(金) ● 苺友会研修十八時四十五分 西部◎
● 昇段試験(二次試験) 十八時 西部◎

二十日(土) 本部構成吟 ゲネプロ あましんアルカイック
ルカイック

二十一日(日) 創立八十五周年全国吟詠大会(近畿地区大会) 十時 あましんアルカイックホール

二十七日(土) KOKO通信 十四時 道場
二十八日(日) ◎ 結成六十五周年記念祝賀会

十二時 日航ホテル 奈良 飛天
会員集合十一時半

今月の標語

「誠意をもって物事をする人は

着実に働きを高めていく」

「人から良く思われたい」「褒められたい」などという気持ちは多かれ少なかれ誰にでもあるものです。

それらを目指し、目標にして日々精進し、地道な努力を重ねて力を蓄えていくならば、それはそれで素晴らしい事です。

しかし、後々のことも考えず、その場だけを取り繕うために、上辺だけの親切や見せかけの熱意、思いつきの言動などを駆使して、好印象・高評価を得ようとするならば、それは大変悪質な事です。

それらを繰り返すうちに、いつのまにか誤魔化しや嘘を重ねることが日常になると取り返しがつきません。

いずれ自分の実力や実態が明らかになった時には、良く思われるどころか、かえって警戒され、信用を失い、人は離れていきます。

目先の評価や邪心にとらわれず、嘘や誤魔化しを避け、常に誠意をもって懸命に粘り強く事に当たります。

そうすることにより、着実に働きは高まり、必ず信頼されるような成果が表れるものと信じます。

今月のお誕生日コーナー



松阪 修 (GYU)

池田 苺黎 (KOKO)

松岡 通苺 (寿美伶)

小林 茂樹 (KOKO木)

西井 浩苺 (KOKO金)

吉桑 愛織 (光台)

峠 加奈代 (かぐや)

北奥 なつき (KOKO桜)

奈良 綺苺 (GYU)

阪木閑菖 (KOKO)

十月が一番多いですね。おめでとございます。

事務局より

☆本部指導局 池田黎

☆ポリドール吟詠会関西地区講習会 受講 北岡

☆本部研修会 池田黎

☆本部研修会 池田黎

☆競吟部 池田黎・北岡・三島・他二人

☆菖友会研修 池田黎・北岡・長野・三島・山本

☆旧河澄家の詩吟の会 池田黎・長野他二人

☆奈良地区連合会構成吟 池田黎・大山・長野

☆NHKFMラジオ録音 池田黎

☆日航ホテル打ち合わせ 池田黎

☆愛連一部 十四位 松浦千幸 頑張りました。

☆臨時役員会 池田・北岡・長野・三島・宇陀・

上村・勝山綾・山本

☆菖友会研修 池田黎・北岡・長野

☆山岡哲山先生祝賀会 池田黎

☆東明未来塾四国コース 池田黎

☆東明未来塾拡大委員会 池田黎

☆哲菖会六十五周年当日役員打ち合わせ 池田黎

長野

☆哲菖会構成吟リハ 十三時 かまぼこ館

池田黎、姪・松浦

☆眞保ズッキング 講師…池田眞保

池田黎、他一名

池田黎・北岡・長野・古川・木村・他一名



☆「西郷どん」大阪府総連主催 吟と舞の祭典

出演 池田黎

チケット協力 北岡・長野・木村・山本

他 十名

ありがとうございました。



各教室より

「よろしくおねがいします」KOKO月曜クラス

はじめまして 當嶋たか子と申します。

子どもの頃、母が語ってくれた

「鞭声肅しゆく夜河をわたる。」

昨年、川中島の詩吟を聴く機会がありました。

お腹から声を出す気持ちよいだらうなと思つてた

のがきつかけでした。

遅いスタートですが古い真つ只中の挑戦です。

仲間に入れてください。

「よろしくおねがいします」KOKO月曜クラス

林美津子です。

趣味 絵 刺繍 ゴルフ 歌 生花、音楽や絵画鑑賞

刺繍、ゴルフが趣味です。

以前に小唄と三味線を習っていました！
詩吟は初めてです。
どうぞ宜しくお願いします。

「愛連全国大会感想」

KOKO通信 松浦瑠菖

北岡先生と池田先生に着物を綺麗に着付けて

頂き、気合を入れ予選に臨みました。

舞台袖で池田先生に首をマッサージして頂いて、

良い気を頂いて気持ちを集約させて舞台に立ちま

した。

その結果、決勝進出となりました。

抽選で出番は1番目になり、他の吟者さんの吟詠

に翻弄されずに自分の吟ができるから良かったな

あと思いました。

金屏風の裏でスタンバイしていると、山口先生が

「そんなに緊張せんと、のびのびやったらええ」

と笑顔でお声をかけて下さり、何も気負うことな

く、自分の吟を思いっきりやろうと思いました。

舞台に立つと、2階席が暖かい光に満たされて輝

いて見え、背中に羽が生えたように体が軽くなり

ました。決勝の舞台に立てた喜び、この場で自分

の吟を聴いて頂ける喜び、詩の世界を奏でる楽し

さでキラキラした幸せな感情のまま最後までやり

きりました。

結果は14位でした。

大会後、辰巳先生に食事をご馳走になり、池田先

生と初めて出会われた時のいきさつなども伺い、

詩吟界の偉人伝を直接聞かせて頂く貴重な機会と

なりました。

帰りは池田先生にお疲れのところを家まで送って

頂き、お世話になるばかりで申し訳ありませんで

した。

また来年へ向けて、もっとスケールを大きく中身を濃くしていけるように精進致しますので、ご指導・鞭撻の程よろしくお願い致します。ありがとうございます！



「動物行動学でヒトを見る」

KOKO水曜 山本眞音

動物行動学という非常に興味深い学問分野があり、また、これは心理学ともオーバーラップする所がある学問です。

ヒトも動物ですので、ヒトの行動・心理分析に大いに適用出来る、というよりもむしろ動物を通じてヒトを分析するといった方がいかにも知れませ

ん。
特に面白いのは、恋人同士の恋愛感情についての勘違いです。

① 吊り橋効果と②暗闇効果といわれるのが代表的です。

① は吊り橋の上にいるとき、怖さの余りドキドキしますが、それが相手に対してときめいていると勘違いしてしまう効果をいいます。

② は薄暗い場所では人との心理的・物理的距離感が縮まり、心の垣根が取り払われ親密になるというものです。

又、夜は瞳孔が開き目が美しく見えるので、相手を勘違いさせる効果もあります。

人が恋に落ちるときには、吊り橋効果や暗闇効果

で大いに勘違いし、恋は盲目となってしまいうので

話変わって男女の心の内を分析した面白い調査結果があります。

男は「名前を付けて保存」、女は「上書き保存」するという男女の考え方の違いの核心をついた、言い得て妙な表現があります。

男は別れた彼女の思い出を大切に保存するが、女はモトカレのことはきれいなサッパリ忘れ去る傾向がある事をいっただけです。

男は未練がましく「女々しい」、女はたくましくドライという事になります。

ヒトも動物も女は「選ぶ性」で男は「選ばれる性」で主導権は女の方にあり、選ばれるために動物もヒトも必死にアピールしているのです。

「旧河澄家に手の詩吟の会」

池田眞黎

九月九日(日) 重陽の節句

本部では東明祭・本部研修の日

随分前から、松田先生にお声をかけて戴き、大事な本部分事と重なったのですが、身体は一つ・・・こちらの方を選択させて頂きました。

(ごめんなさい)

新石切から徒歩二十分程北へ(当日は松田先生の車で。助かりました)

一般の方々への声掛けでした。

「詩吟の会の紹介」

「源氏物語における漢詩の引用について」

「詩吟の発声練習の紹介」

「吟詠紹介」

定員三十名の小規模の催しでしたが、こじんまりと、家族的な雰囲気の中会は進行しました。

松田先生の綿密な企画構成で、プロジェクター、

ナレーションで進めました。

出演・司会・音響・映像が出演者のみで進める・・・

その中でも松田先生は大活躍。

出演者はたったの四人。

初体験で、どうなるか？少しの心配をもつてのトライでした。



会場には挿絵作家の羽子岡爾郎(はねおか じろう)氏の素敵な作品が会場いっぱい展示されていました。



開演前にじっくりと見学させて頂きました。

私も、水墨画を峯田画伯にご教授いただいてかれこれ、ウン十年。

水墨画は少しだけ近く感じました。

さて愈々本番が近づき、皆には緊張が走りだしま

した。
観客もチラホラ集まってきていただき、会場はそこそこ満杯？



観客席は座敷に椅子。
舞台は土間。

こんなコンサートも、いいな〜って思いました。
雨が気がかりでしたが、丁度いいアンバイで、帰りの電車待ちで降ってきました。

行きと帰りは雨コート着ましたが、初めての体験をお互い感謝しながら帰路につきました。
松田賢菫先生、ありがとうございます。
長野さん源さんお疲れさまでした。

この日、本部で戴くはずだった賞状です。



総師範取得後十五年経ちました。感謝です。

「東明未来塾四国コース」

池田眞梨

九月二十三日（日）九時半開校式。

四国コースへは初めての参加をさせて頂きました。
四国の交通事情を考えて？塾は一泊二日に設定されました。
久々の飛行機です。稲田先生には大変お世話になりました。
私は初日のお昼からの講座でした。

タイトルは、指導マニュアルにそつて。

基本姿勢・発音・発声について、九十分。

導入が少し長かったでしょうか？私の詩吟への入会・家族の詩吟への入会・健康のありがたさ・ちっちゃいおっちゃんの話。

そして立ったり座ったり何回かして頂きました。
寝てる方は、いなかったと思いますが、欠伸はさ

れていました（爆笑）

その時にヒントを得て、欠伸するとき、喉がよく開いているとき！と、伝えました。

そして皆さんで欠伸してもらいました。
その方のお陰です（爆笑）

立ち方・お辞儀の仕方・呼吸法・発音・発声
毎回同じですが、伝え方が微妙に違ってきて、私
自身進化してきたと感じています。

あつという間の九十分でした。

タイムオーバーで地藏会長に、**××**を出していた
だいて終わった次第・・・失礼いたしました。

私の次に「剣詩舞家から見た漢詩の解釈と振り
付け」のテーマで林霊山先生の講演でした。

その中で、本番前に伴吟の依頼を受けました。
それも二題。「宝船」「中秋の月」

来年度の剣詩舞コンクールの課題詩より抜粋され

たようです。

お陰様で二題、勉強させて頂きました。

二題もさせて頂いたのだから、最後の吟詠は辞退したのですが、縁あって（笑）もう一題させて頂きました。「舟中聞子規」

もう満腹でした。ありがとうございます。
何よりも、盛り上がったのはやはり、夕食会、
其の後の二次会でした。

二日目は九時からの講義。
爆睡出来ましたので、しっかり受講させて頂けました。

二日間にわたり、講師の先生方、受講生の皆さま、
お世話になった役員の方、ありがとうございます。
ました。

地藏会長と原先生は二日目はおられませんでしたが、帰りの珍道中。これもまた最高でした。

一泊の東明未来塾、中々魅力ありました。



（上）稲田眞胤塾長より一人ずつに修了証授与
（下）氏原先生・下村さんに駅まで送って頂きました。

「まほちゃんクッキングに参加して」

寿美伶 木村怡菫

この五月から、私、池田先生の道場で開催される「まほちゃんクッキング」に参加させていただいております。

講師は、眞保さんと弥咲さんの若いお二人です。作って下さるお料理は、今話題の無水鍋をはじめ、優れたものの調理器具を使って、毎回短時間で美味しくできる献立です。

九月のメニューは、

- ・根菜と魚介の和風スープカレー
- ・雑穀おこわ
- ・シャキシャキ香味野菜のささみサラダ
- ・豆腐花（デザート）です。



四段重ねの蒸し器を使って、一段目は、根菜スープカレー、二段目は雑穀おこわ、その上にアルミホイルに包んだささ身をのせ、火を通す。

三段目は、デザート豆腐花。四段目は帆立とアサリ。

これらを加熱すること五十分で、蒸し器ひとつで一度に出来ちゃうんですから、正にマジックです。一石二鳥、いや四鳥でしょうか……。また、出来上がるまでの時間を利用して、時にはゲストを招いて健康のお話とか、暮らしに関し

てのお話を聞かせてくださるので、有意義に時間が経過していきます。

そして舌ずつみをうちながらの楽しみな試食タイム。こうして二時間半が、あっという間に過ぎました。来月はどんな献立かな？毎回楽しみなひとときです。

「吟と舞の祭典」を鑑賞して

KOKO水曜 山本貫蒼

吟と舞の祭典が九月二十九日に開催され鑑賞に行つて参りました。

第一部は吟詠と剣詩舞、第二部は構成吟「西郷どん」でした。

何れも素晴らしかったです。冒頭、総連盟の横山理事長が御挨拶で、かつての笹川会長の言葉を読まれていました。

「心に栄養を与えることが肝要である」と。心に染み入りました。

今回、大変興味深く面白と感じたのは、合吟の部の練習風景という設定にしてその様子を来場者に見せて進行するという斬新な企画でした。

芝居での劇中劇という手法です。幼年の部の詩舞では、上半身の型といい、足運びの美しさといふ目を見張りました。

将来まさに畏るべしです。メインイベントの構成吟は、日本史上最大の英雄の一人「西郷どん」にかかわる内容です。

大変見応え、聞き応えのある素晴らしい内容でした。

ただ、ナレーションで気になる所が二か所ありました。

開明派の薩摩藩主島津斉彬がチフスで急死と言っていました。

しかし、流行性の伝染病での死亡説はあるものの、どちらかと言えば根拠薄弱で、死因は不明で急死したとするか、島津家の情況から毒殺説が有力視されていますので、それを紹介する方がいいと思います。

（幕末ものは皆がよく知っていますから）

もう一つは幕末の歴史では、その記述で必ず勤王の志士に対する大弾圧 安政の大獄と言われるものですが、幕府側（江戸時代は幕府とは言いません大公儀といいます）から見れば不逞浪士（輩）の取締りという治安行動なのですが、勝った側の薩長の歴史観では幕府が極悪非道でなければ、革命、クーデターの自分達の側に正統性が無くなるからです。

大獄と言うと世界基準で考えて何百人が処刑されたと思いがちですが、死刑（切腹を含む）はたった七人なので

典型的な針小棒大表現です。日本は平和な国で、平安時代死刑が無かった国です。仕方がありません。

最後の合吟では、幕が上がると池田先生がセンターでした。

お母さん先生と顔を見合わせて、池田先生がセンターポジションで素晴らしいですねと話しました。

お蔭様で心から楽しめました。有難う御座居ました。



日本楽府で読む日本史

第四関 (四天王(してんわう))

わうじ かしら してんわう いただ
皇子は頭に四天王を戴き。

おほむらじ や きずつ
大連の箭は傷くるを得ず。

なんぢ いへ す わてら た
汝の宅を犁きて我が寺を建つ。

がらんくも つらな しちほうかがや
伽藍雲に連りて七宝光く。

してんわう ほかてんわうな
四天王の外天王無し。

大意

聖徳太子は頭に四天王を戴いて戦った。

大連物部守屋軍の矢は、だから太子を傷つける
ことが出来なかった。
そなたの邸宅の跡に仏の寺を建てようぞ。

伽藍は高々と雲に届きそうに聳え、七宝の荘厳が
照り輝く。

四天王の外に「天王」と呼ぶべきものはない。
(引用文献＝渡部昇一「日本史の真髓 頼山陽の
『日本楽府』を読む」)
(フランス)

最初に仏教に改宗した天皇は第31代用明天皇
である。

ヨーロッパ(ローマ皇帝で最初にキリスト教に
改宗したのはコンスタンティヌス大帝である。

「KOKO三重教室」

久々にお稽古させて頂きました。
お元気です。渋川菖敏さん。



寄稿

五十七回目 山本菖邨先生

『大人の常識力』

☆名産☆
会津の「赤べこ」なぜ赤い？

指でチョイと振れると、上下左右にゆらゆらと
首を振る、こんなユーモラスな郷土土産といえば、
会津の「赤べこ」だ。

牛の形をした張り子の人形で、鮮やかな赤色の和
紙で覆われているのが特徴だ。

「べこ」とは東北弁で「牛」の事であ。

しかし牛の体といえば、本来は白と黒、もしくは
茶色である。

それをわざわざ赤色にしたのは何の意味があるの
だろうか？

今から約1200年前、会津の柳津町に圓蔵寺な
る寺が誕生した。

創建したのは、一説に藤原仲麻呂の子といわれる
名僧、徳一大師である。

圓蔵寺の本尊には虚空蔵尊が祀られているが、徳
一大師がこれを建立する際、材木となるケヤキの
運搬に難儀していたところ、どこからともなく牛
達がやって来てそれを運んだ。

その時、最後まで黙々と働き続けたのが赤い牛だ
った。

お堂が完成するとともに牛は消え、石に姿を変え
て守り神になったという。

赤べこは、この伝説を基に鶴ヶ城主だった蒲生氏
郷の命によって作り出された。

やがて会津に疫病が流行ったが、赤べこを持つ子
供たちは感染しなかったといわれ、魔除けの意味
を持つ子供の玩具として定着したのである。

現在は厄除け、縁起物として会津土産の定番にな
った。

「起き上がりこぼし」は何故倒しても立ち上が
る？

かわいい手のひらサイズの縁起物として知られる「起き上がりこぼし(小法師)」。

赤べこと並ぶ会津土産の定番だが、じつは民芸品としては赤べこよりも歴史が古い。

今からおよそ400年前、当時の会津藩主蒲生氏郷が下級武士につくらせ、正月に売り出したのが始まりだ。

七転び八起きの精神で家内安全を祈願するというもので、購入の際には家族の人数よりも一多く買うのがいととされている。

高さは3.5cm程度で指で倒してもすぐにポンと立ち上がる姿が、起き上がりこぼしの特徴だが、作り方はいたってシンプルだ。

和紙の張り子細工で、木枠で人形の形に和紙を成形したら、底に重りとなる球状の粘土を糊付けする倒しても見事に起き上がるのだ。

数年前、ある政治家から起き上がりこぼしをプレゼントされた野党の党首が自分の起き上がりこぼしだけが起き上がらなかったというエピソードが話題になった。

その党首は進退を迫られていた渦中の人物だっただけに、なんともシャレにならない出来事だった。ちなみに、その政治家には改めて会津から起き上がりこぼしが届き、今度はちゃんと起き上がったという。

「こけし」に秘められた謎とは?

東北地方みちのく全体に共通する名産品に「こけし」がある。

こけしは木をろくろで人型に成形した玩具で、手足はなく頭部に顔が書き入れられている。

東北では複数の地域にわたって生産されているが、それぞれが独自の歴史を持つため、総括して「伝

統こけし」と呼ばれている。

この伝統こけしには、中央が膨らんだ円柱形が特徴的な土湯系(福島県)、顔の絵付けが個性的な

遠刈田系(宮城県)、頭部がはめ込みになっている

鳴子系(宮城県)など、合計すると東北6県にわた

り11系統もある。

同じ東北地方とはいえ、なぜこれだけの広範囲にわたってこけしが作られたのか?

まず起源について、最初から玩具として始まったのか。

或いは何等かの「信仰」に関連して始まったのかで二説がある。

後者は東北に伝わったおしら様信仰や、ほう子信仰、或いは土着の性的信仰などを指している。

いずれにせよ、こけしの三大生産地といわれる土湯、遠刈田、鳴子が奥羽山脈に位置する湯治場で、古くからこけし作りに欠かせない木地屋が存在していたことは注目すべき共通点だ。

こけしは湯治場の土産物の代名詞でもある。

日光の「湯波」と京都の「湯葉」何が違う?

豆乳を加熱した際に表面にうっすらと張る膜が「ゆば」である。

修行僧には、タンパク質が豊富な精進料理の材料として、古くから親しまれてきた食べ物である。

日光ではこれを「湯波」と書き、特産品のひとつとして売られている人気商品だ。

ところが京都では、これと同じ物を「湯葉」と記して土産物にしている。

なぜこのような違いがあるのだろうか? 日光と京都で原料が違うわけでも加熱の方法

が違うわけでもない。

じつは、その製法が語源になっているのである。

京都は豆乳の表面に出来たゆばをそのまま引き上げ、平らなままで食材にするが、日光では引き上げる際に、真ん中で一度折り返して二重にするのだ。

すると、京都のそれは、まるで「葉」のように広がるので湯葉となり、日光のものは折り返すことで、ゆるやかな「波」状となるので湯波となったのである。

京都では千二百年ほど前から禅僧たちの間で食べられており、その製法が関東に伝えられたのである。

日光で一般の人が口にするのは1617年に徳川家康を祀った東照宮が建立されたからである。

もともとゆばは豆腐とともに中国から伝わったもので「湯婆」と書く。

一説によるとゆばに寄っているシワが老婆のシワを思わせることからついたようである。

高崎名物の「だるま」はなぜあの丸い形になった

縁起物として広く日本で親しまれているだるま。このだるまの生産で日本一を誇るのが群馬県高崎市である。

少林山周辺では年間150万個のだるまが作られ、全国のシェアはなんと8割にものぼる。

ところで、この高崎のだるまは、赤くて顔にはひげがあり、胴体は繭のような球に近い形状で、手足はない。

これにはだるまのモデルになったある人物の話におおいに関係している。

ある人物とはその名の通り達磨大師で、禅宗の開

